山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

潤徳小HP　令和５年１１月２０日（月）　第３２号
２次元ｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

地域の祭りで竹ドラムを披露

八朔祭りで演奏を披露したことが影響したのでしょう。「御岳西部ふれあい福祉まつり」実行委員会から竹ドラム出演のオファーを受けました。休日中のことですので参加の強制はできませんでしたが、１５名が都合をつけて出場してくれました。

まつりは１９日（日）の午後に行われました。子どもたちの中には、体調がすぐれない状態で責任感から頑張って出てきた子や、所属クラブチームの試合が終了後すぐに駆けつけてくれた子もいました。

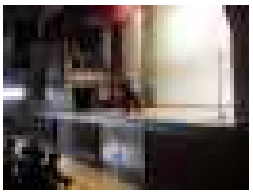
子どもたちの演奏に対し、参加者の方々が手をたたいて喜ぶ姿から、子どもたちが活躍する場があることが地域を盛り上げていくのだと感じました。ここには、竹ドラムの前に披露された「少女神楽」を指導されている方があった事でもあります。

校歌演奏では、１・２年生が体を横に揺らしながら歌う姿がかわいらしかったです。

大きな刺激を受け、心強い（日野）潤徳小学校の存在

（日野）ＨＰに、ぜひご注目ください。先週の月～土に行われた「潤フェス」は連日相当な盛り上がりだったようです。私がライブで観たのは１回だけでしたが、画面上からも盛況ぶりを感じたくらいですから会場ではその数十倍の体感だったと想像します。さらに、来週からも続編があることも発表されたことをＨＰを通じて知りました。（日野）のすさまじい勢いは今後も続きそうです。最終日は斉藤校長がトップバッターでステージに上がった（右下図参照）ようです笑笑。

今年度は本校は閉校式典、（日野）は１５０周年式典を実施します。両校長が自校の記念誌に加え、お互いの学校の記念誌にも挨拶原稿を執筆しています。詳しくは、記念誌完成時に読んでいただきたいのですが、原稿にお互いの熱い想いをしたためています。私は「両校の絆は、海より深い！」と確信しました。



潤徳抄Ⅱ

校種間の連携が大変重要であることを同和教育（進路保障）で学んだ。「卒業させたら終わり」ではナイ！これまでも進路先の学校で公開授業の案内があれば都合のつく限り、参加するようにしてきた▼１７日（金）は、ある卒業生の様子を見に行った。「覚えてくれてるかなあ？」と不安に思いつつも行ってみたら思い出し、笑顔を見せてくれたのでウレシかった。実は出身保育園の園長先生も数日前に来られていたのだ▼授業を参観させてもらったが、この半年でずいぶん成長していたことが伺えた。ビックリしたのは担任が私の御船中勤務時代の同僚だったことだ。すごい縁である。私自身がアラカンの世代になってからは、こういった「数珠繋ぎ現象」が多くなった▼「進路保障は同和教育の総和」と言われる。義務教育に携わる一教育者として、責任をもって目の前にいる子どもたちを育てていかねば！と心を新たにした。